第 14 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和2年12月24日

定 例 会

令和2年第14回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和2年12月24日
 招集の場所 越谷市役所本庁舎5階 第2委員会室
 開閉会日時 開会12月24日 午前10時00分
 閉会12月24日 午前11時28分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	堀 川 智 子	委 員	荒 木 明 子
委 員	渡 辺 律 子	委 員	山 口 文 平

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	鈴木 功	学校教育部長	岡 本 順
教育総務部 副参事兼 教育総務課長	渡 辺 真 浩	学校教育部 副参事兼 学校管理課長	紺 野 功
教育総務部 副参事兼 図書館長	横 山 みどり	学校教育部 副参事兼 指導課長	佐々木 清
生涯学習課長	木 村 和 明	学校教育部 副参事兼 給食課長	石 川 智 啓
スポーツ振興 課 長	八木下 太	学 務 課 長	小野寺 秀 明
生涯学習課 調整幹兼 科学技術体験 センター所長	前 田 清 彦	教育センター 所 長	齋 藤 紀 義
生涯学習課 調 整 幹	中 野 聡	学 校 管 理 課 調 整 幹	齋 藤 道 雄
増林公民館長	石 原 孝 宏	指 導 課 調 整 幹	佐 藤 泰 弘
		給 食 課 調 整 幹 兼 第一学校給食 センター所長	中 山 佳 孝

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 課 長	市 川 今 日 子
----------------	-----------

	議 事	て ん 末
議 事 状 況	教育長報告	
	・教育長専決第23号について	
	議 案	
	・第45号議案 越谷市民プール設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則制定について	原案可決
	協議事項	
	・令和3年度越谷市教育費当初予算について	
	その他	
	・令和2年12月定例市議会について	

◎開会の宣告

吉田教育長 これより12月定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、現在のところ傍聴許可願の提出はございませんが、越谷市教育委員会傍聴人規則第1条第2項の規定により、開会後に許可願が提出された場合、傍聴を許可したいと存じます。

(午前10時00分)

◎教育長報告 「教育長専決第23号について」

吉田教育長 それでは、教育長報告「教育長専決第23号について」、学校管理課長からご説明いたします。

学校管理課長。

紺野学校管理課長 それでは、教育長専決につきましてご報告を申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の1ページをお開きください。

去る11月26日の定例教育委員会会議以降、本日までの間に教育長が専決処理いたしました1件の専決事項について、ご報告させていただきます。こちらにつきましては、教育委員会の議決事項でございますが、緊急に処理する必要があり、かつ教育委員会会議を招集するいとまがなかったことから、越谷市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定に基づき、教育長が専決処理を行ったものでございます。

なお、教育長が専決処理を行った事項につきましては、同規則第2条第3項の規定に基づきまして、本定例会においてご報告をさせていただくものでございます。

それでは、専決第23号について、ご報告をさせていただきます。恐れ入りますが、会議要項の3ページをご覧ください。

専決第23号 令和2年度越谷市教育費補正予算の見積りについて。

令和2年度越谷市教育費補正予算の見積りについて、別冊のとおり専決処理する。

令和2年12月8日、越谷市教育委員会教育長。

12月補正予算につきましては、11月の定例教育委員会会議で教育長専決の報告をさせていただきましたが、今回、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、3款民生費と7款商工費において、早急に取り組むべき事業が生じたことから、12月議会開会中ではございますが、追加で予算計上されたものでございます。

なお、教育委員会に関する予算につきましては、後ほどご説明させていただきますが、事業費の確定に伴う減額で、財源調整のため予算計上されたものでございます。

それでは、恐れ入りますが、別冊1の令和2年度越谷市教育費補正予算総括表及び予算説明書

の2ページ及び3ページをお開きください。初めに、歳入についてご説明いたします。3ページの表の一番下にごございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連する歳入につきましては、今回1億円を減額し、補正後の総額は59億3,382万1,000円となります。

歳入の内容でございますが、6ページ及び7ページの(1)、歳入予算説明書をご覧ください。14款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、GIGAスクール構想に基づく、小中学校1人1台の学習者用端末等の整備事業に係る事業費の確定に伴い、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金1億円を減額します。

次に、歳出の内容でございますが、戻りまして5ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回1億円を減額し、補正後の総額は137億8,235万5,000円となります。

歳出の主なものについてご説明を申し上げます。12ページ及び13ページの事業別予算説明書をご覧ください。歳入予算の説明と同じく、1項教育総務費、4目教育センター費の校内系ネットワーク運用事業の学校ICT機器購入費1億円を減額します。

教育長専決第23号に係るご報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。
よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

◎第45号議案 越谷市民プール設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則制定について

吉田教育長 続きまして、第45号議案「越谷市民プール設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則制定について」、スポーツ振興課長から説明いたします。

スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 それでは、第45号議案 越谷市民プール設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則制定についてご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の5ページをお開きください。

第45号議案 越谷市民プール設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則制定について。
越谷市民プール設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則を別紙のとおり制定するものとする。

令和2年12月24日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市民プールの券売機更新に伴い、所要の改正を行う必要があるため、提案するものでございます。

次に、改正の内容でございますが、資料、新旧対照表の1ページをご覧ください。現在、越谷

市民プールで使用している券売機のリース期間が令和3年1月31日をもって期間満了となり、新たな券売機に更新することに伴い、券売機で使用していたプリペイドカードについても更新されます。具体的には使い捨てのプリペイドカードから、繰り返し利用が可能なチャージ機能付きのカードに更新するものです。このカードの更新に伴い、第8条ではプリペイドカードの種類及び発行金額について規定されておりましたが、今回、第8条第1項に、プリペイドカードの発行を受けようとする者は、越谷市民プール専用カード発行依頼書を教育委員会に提出する旨を規定するとともに、同条第2項にプリペイドカードの発行金額について規定するものでございます。また、別表（第8条関係）につきましては、第8条の改正に合わせて表記を変更するものでございます。

次に、2ページ及び3ページをご覧ください。プリペイドカードの更新に伴い、カードの様式を定めている第7号様式を改めるとともに、越谷市民プール専用カード発行依頼書として、第7号様式の2を新たに追加するものでございます。

なお、この規則は令和3年2月1日から施行いたします。

第45号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより、本案に対し質疑、討論を行います。

ご質問またはご意見等はございますか。

なければ私から。このカードが使えることによって、利便性が高まると思うのですが、その辺、少し補足してもらえますか。

スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 今回のカードの変更につきまして、新旧対照表の右側に示してあります。今までのカードは、昔のテレフォンカードのような薄いカードで、残額がなくなると使い捨てでしたが、今回は、チャージが可能になるということで、初期投資的な経費はかかるものの、ランニングコストや、あと利用者の利便性については格段に上がるものと期待されております。

また、変更後のカードは、発行依頼書に基づいて、市内登録者か市外登録者かが分かり、事前にそのICカードで料金を識別することが可能になることから、利用券の買い間違いが防げ、スムーズな券売と入場が可能になると期待しており、効果的になると思っています。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 これより第45号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎協議事項 令和3年度越谷市教育費当初予算について

吉田教育長 続きまして、協議事項に入ります。

「令和3年度越谷市教育費当初予算について」、教育総務課長から説明いたします。

教育総務課長。

渡辺教育総務課長 それでは、令和3年度越谷市教育費当初予算の概要につきましてご説明させていただきます。

令和3年度は、「第3期越谷市教育振興基本計画」の計画初年度となります。「生涯学習社会の実現をめざして」という基本理念の具現化に向けて、主な取り組みに掲げた指標の目標達成を目指しながら、学校教育、生涯学習及び生涯スポーツの3つの基本目標を柱に、教育施策を総合的かつ計画的に推進していくことができるよう、当初予算を要求してまいります。

恐れ入りますが、別冊2、令和3年度当初予算要求書の表紙から2枚めくっていただきまして、目次をご覧くださいと思います。私からは、2ページから5ページまでの予算総括表の概略と教育総務課の要求の内容をご説明させていただきまして、その他の所管の具体的な要求の内容につきましては、それぞれの担当課所長からご説明申し上げますので、よろしく願いいたします。

なお、当初予算の要求に当たりまして、衛生費に教育委員会関連予算を要求してございますので、併せてご説明申し上げます。

初めに、歳入についてご説明させていただきます。3ページ下段の教育費に係る歳入合計欄をご覧くださいと思います。本年度要求額は、25億8,710万7,000円となっております。主なものといたしましては、各種教育施設に係る使用料収入や、小中学校施設整備などに係る国庫補助金、学校給食費実費徴収金や各種教育施設の改修費等に係る市債などがございます。

次に、歳出についてご説明させていただきます。4ページ上段の教育委員会に関連する衛生費につきましては、44万3,000円を要求いたします。こちらは、引き続き実施いたします給食食材の放射性物質の測定に係る経費でございます。

次に、5ページ下段になりますが、教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。教育費に係る要求額は111億1,281万9,000円でございます。なお、超過勤務手当及び休日給を除き、事務局職員の人件費につきましては、こちらの中に含まれてございません。後ほど総務部人事課におきまして一括計上し、追って内示されるものとなっております。

次に、6ページ以降にございます要求一覧表につきましては、ご参照いただき、ご了承賜りたいと存じます。

続いて、教育総務課の所管事業に係る要求の内容についてご説明させていただきます。恐れ入りますが、別冊3、令和3年度予算編成の概要の1ページ目をご覧くださいと思います。中

段の重点施策の（１）、主要事業についてご説明をさせていただきます。

１項目め、教育委員による教育活動等の積極的な把握につきましては、教育委員による学校訪問や、教育委員と教育委員会事務局職員との懇談などを実施してまいります。

２項目め、教育振興基本計画の進行管理につきましては、教育施策を着実に推進していくため、PDCAのマネジメントサイクルの下、適切な進行管理に努めてまいります。

３項目め、学識経験者による知見の活用につきましては、令和２年度に引き続き教育委員会の事務に関する点検評価において、学識経験者の方に教育外部評価をお願いしてまいります。

４項目め、入学準備金貸付制度の適切な運用につきましては、等しく教育を受ける機会を確保するため、制度の適切な運用を図るとともに、未収金の回収につきましても積極的に取り組んでまいります。

５項目め、幼稚園教育への支援につきましては、幼稚園等の施設整備や教職員に係る研修費用の一部を補助することにより教育環境の向上を図ってまいります。

６項目め、市長との連携につきましては、平成27年度から設置された総合教育会議におきまして、市長と教育委員会の間で十分にご協議をいただけるよう、市長部局と連携を図りながら会議運営に係る支援を行ってまいります。

続きまして、恐れ入りますが、別冊４になります。令和３年度当初予算主要事業一覧の２ページ目をご覧いただきたいと存じます。

No. 1 になりますが、幼稚園振興事業につきましては、市内28園の私立幼稚園等の設置者が実施いたします環境整備事業及び教職員の育成事業に対する経費を助成し、幼児教育の振興を図るため、幼稚園振興補助金3,440万円を要求いたしました。

それでは、この後、具体的な要求内容等につきまして、順次、担当課長からご説明させていただきます。

吉田教育長 生涯学習課長。

木村生涯学習課長 続きまして、別冊３、予算編成の概要の２ページをお開きいただきたいと存じます。

生涯学習課につきましては、学習成果や共に学ぶことを通して得た人とのつながりなどを地域社会やまちづくりに生かしていくことができるよう、ライフステージ・ライフスタイルに対応した学習機会の充実に努め、循環型生涯学習を推進してまいりたいと存じます。

また、地域の特性を生かした特色と個性ある伝統的な芸術文化活動の発展、及び郷土の貴重な文化的遺産を後世に継承し、文化財の保存・活用の推進を図るため、生涯学習の関連の予算を要求させていただくものでございます。

重点施策でございますが、主要事業といたしまして、１点目、市民との協働による事業における市民参画の促進に取り組めます。

2点目、生涯学習リーダー養成講座実践編修了者を各種講座の講師として活用するなど、人材育成の支援に取り組んでまいります。

3点目、ライフステージ・ライフスタイルに対応した学習機会の充実を図るため、市民との協働による生涯学習フェスティバルや公民館における各種学級・講座の開催を進めてまいります。

4点目、家庭の教育力の向上を図るため、就学時及び進学時の説明会において、保護者を対象とした子育て講座を実施してまいります。

5点目、人権教育の普及・啓発を図るために、人権講演会や公民館における人権教育推進事業を実施してまいります。

6点目、あだたら高原少年自然の家について、施設の解体を実施してまいります。

7点目、文化総合誌「川のあるまち—越谷文化」を発行し、文芸創作活動の発表機会の充実に努めるとともに、越谷市美術展覧会や越谷市市民文化祭などを開催し、芸術文化活動の成果発表の場を提供いたします。

8点目、市民文化の向上を図るため、文化施設における優れた舞台公演や作品展示など、身近な場所で芸術文化を鑑賞する機会を提供いたします。

9点目、越谷市郷土芸能祭や郷土芸能体験教室を開催し、発表と体験の場を提供するとともに、郷土芸能保持団体の自主活動への支援を行い、後継者の育成に努めてまいります。

10点目、こしがや薪能や市民能楽養成事業などを開催し、鑑賞する機会や体験する場を提供するとともに、伝統文化の振興の拠点施設として、日本文化伝承の館の積極的な利用促進に努めてまいります。

11点目、大間野町旧中村家住宅及び旧東方村中村家住宅の適切な管理を行うとともに、旧東方村中村家住宅の多言語PR映像の作成や、大間野町旧中村家住宅における大型バスが駐車可能な駐車場の確保に係る調整を進め、市の歴史や文化を伝える場としての利活用の促進に努めてまいります。また、旧荻島公民館内に収蔵している民具等の整理を実施いたします。

12点目、西大袋土地区画整理事業の進捗に合わせまして、大道遺跡において発掘調査を行うとともに、平成29年度、令和元年度に発掘調査を行った東方西口遺跡の発掘調査報告書を刊行し、埋蔵文化財の記録保存に努めてまいります。また、文化財基礎調査として越ヶ谷秋まつりの調査を実施するとともに、市内旧家に保存されている古文書類の所在確認及び概要調査に取り組んでまいります。

13点目、市所有の歴史資料のデジタル化を進めるとともに、展示や広報活動に取り組み、市の歴史や文化の正しい理解のために欠くことのできない文化財として次世代へ継承してまいります。

続きまして、恐れ入りますが、別冊4、主要事業一覧の2ページをご覧くださいと存じます。No. 2、各種学級・講座開催事業でございますが、就学時及び進学時の説明会において実施する子育て講座について、講師の増員による講座内容の充実を図ります。

No. 3、展覧会開催事業でございますが、芸術文化活動の推進を図るため、市民に優れた作品の鑑賞及び発表の場を提供するものでございます。

No. 4、文化財施設管理費でございますが、大間野町旧中村家住宅及び旧東方村中村家住宅の適切な施設管理のため、大間野町旧中村家住宅の主屋納屋の床板修繕などを実施するほか、旧東方村中村家住宅の他言語版のPR映像の作成や看板の設置等を行うものでございます。

No. 5、文化財調査事業でございますが、引き続き市内遺跡の調査を実施するとともに、文化財基礎調査として市内旧家等に保存されている古文書類の所在確認及び概要調査等に取り組むものでございます。

No. 6、文化財資料等整備事業でございますが、市所有の歴史資料を整理し、市民に公開・活用するとともに、資料のデジタル化を進め、次世代への継承を図るものでございます。

吉田教育長 科学技術体験センター所長。

前田科学技術体験センター所長 続きまして、科学技術体験センターです。別冊3、予算編成の概要の4ページをご覧ください。

科学技術体験センターでは、科学技術への興味・関心を喚起し、未来を担う創造性豊かな人材育成を図るため、各ライフステージに合わせ、体験を通して実感できる科学技術教育の充実に努めてまいります。また、令和3年に開館20周年を迎えることから、他の科学館・博物館・大学・企業と連携し、様々な企画に取り組んでまいります。

それでは、重点施策の(1)、主要事業について説明させていただきます。

1項目め、開館20周年記念事業でございますが、他の科学館、博物館等と連携した特別企画展といたしまして「SDGs」、「体の不思議」等の企画展を開催するほか、新しい生活様式に沿った全ての世代で楽しめるプロジェクションマッピングシステムを活用した非接触型体験装置の導入や、小学校低学年を対象にした最先端小型ロボットを使用するプログラミング講座を実施してまいります。

2項目め、「各ライフステージに合わせた講座や新規分野の開拓など、科学技術体験事業の充実」につきましては、新型コロナウイルス感染対策として受講人数を制限するなどの対応を行い、引き続き各ライフステージに合わせた科学講座の充実に努めてまいります。

3項目め、各学校の実情に合わせた学校利用事業の実施についてですが、市内小学校3年生、5年生の全児童を対象に科学技術体験センターから職員を派遣し、学校では実施することが難しい科学体験授業を実施してまいります。

4項目め、特別な支援を要する児童生徒を対象とした科学工作体験事業の実施についてですが、特別な支援を要する児童生徒を対象に、専用の工作体験メニューの開発等により、対象児童生徒が科学工作を体験できるよう環境を整え体験授業を実施してまいります。

5項目め、学校や産業界・研究機関との連携についてですが、学校利用事業のために開発した

授業メニューを各学校の授業に取り入れて実施できるよう、指導過程と実験道具をセットにしたアウトリーチ教材の貸出しを行うほか、小中学校への科学体験派遣事業の実施や、地域の高校・大学・研究機関・企業と連携した科学講座を実施してまいります。

恐れ入りますが、別冊4、当初予算主要事業一覧、2ページをお開きください。

No. 7、科学技術体験センター管理運営費でございますが、他の科学館等と連携した企画展の開催、新しい生活様式に沿った非接触型体験装置の計画的な導入を含む管理運営費といたしまして、1億730万2,000円を要求しております。

科学技術体験センターにつきましては以上でございます。

吉田教育長 スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 続きまして、スポーツ振興課でございます。別冊3、予算編成の概要の5ページをご覧ください。

いつでも、どこでも、誰もが生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しみ、自分らしく、生き生きとした生活を送る環境づくりを目指し、長期的な展望の下に生涯スポーツの振興を図ってまいります。また、プロスポーツの試合や2020東京オリンピック事前キャンプや聖火リレーの実施を通じて様々なスポーツに関心を持っていただき、健康維持・向上や健康寿命の延伸を図ることができるよう、スポーツ・レクリエーション活動の推進に努めてまいります。さらに、多くの市民が安全に、かつ安心してスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう体育施設の整備・充実に努めてまいります。

次に、重点施策の(1)、主要事業についてでございますが、1項目め、活動機会・環境の充実については、親子体操における臨時保育室を設けるほか、福祉施設への出前講座に加え、令和2年度より開始したスポーツ教室動画配信を引き続き実施いたします。

2項目め、成人の健康・体力づくりの支援につきましては、成人の運動不足の解消や心身のリフレッシュを図るため、休日や平日の夜間の参加しやすい時間帯に開催するスポーツ教室を充実させるなど、成人の体力づくりの支援に努めます。

3項目め、スポーツ観戦機会の充実につきましては、開催延期となった2020東京オリンピック・パラリンピックが目前に迫り、市民のスポーツへの関心が再び高まる中で、ポルトガル卓球チームの事前キャンプや聖火リレーの実施、バスケットボールB2リーグ越谷アルファーズをはじめとするプロスポーツの開催を通じて、観戦機会の充実に努めてまいります。

4項目め、体育施設の充実につきましては、市民が安全で安心して快適に利用できるよう、老朽化した第1、第2体育館の建て替えに伴い、民間活力の導入を検討し、新たなスポーツの拠点となる体育施設の整備を進めます。

次に、別冊4、主要事業一覧の2ページをご覧ください。

No. 8、東京オリンピック・パラリンピック推進事業でございますが、ポルトガル卓球チームの

オリンピック事前キャンプ実施に伴う練習環境の整備や聖火リレーに向けた各種準備のための費用でございます。

No. 9、総合体育館管理運営費でございますが、指定管理者である越谷市施設管理公社への管理運営委託料1億1,800万円、非構造部材耐震化調査業務委託料1,061万円でございます。

No. 10、(仮称)越谷市立地域スポーツセンター整備事業でございますが、老朽化した第1、第2体育館の建て替えに伴い、民間活力の導入に伴う新たなスポーツの拠点となる体育施設の整備を進めるため、コンサルタント会社によるモニタリング業務委託料1,143万円、第1、第2体育館及び大沢地区センターの解体工事費2億1,428万円でございます。

スポーツ振興課の予算概要につきましては以上でございます。

吉田教育長 図書館長。

横山図書館長 続きまして、図書館です。別冊3、予算編成の概要の6ページをご覧ください。

図書館は、人類の知的・文化的所産である書籍を収集・保存・活用・継承し、あわせて基本的人権としての知る権利を保障する役割を担ってまいります。

まず、1項目め、図書館機能の充実でございますが、図書、雑誌などの資料収集とともに、通常の読書が困難な方への耳からの読書である録音図書作製のためのパソコンの入れ替えを行います。

また、図書館システムの更改を行い、電子書籍の導入や北部図書室にも持ち去り防止装置を設置し、移動図書館の貸出などの事務をオンライン化することで、一層の図書館機能の向上を図りたいと考えております。さらに、築37年を経過した建物を維持するため、雨漏りの修繕など様々な改修工事を計画的に進めてまいります。

2項目め、子ども読書活動の推進に関するものですが、地域家庭文庫連絡会の方などとの協力関係を深め、さらなる事業の充実を図るとともに、新小学1年生に図書館利用案内の配付、また図書館のおすすめする本の入った、おたのしみ袋の貸出を行い、子どもの読書活動の推進に努めてまいります。

続きまして、主要事業別冊4の2ページをご覧ください。

No. 11として、図書館システムの更改を予定している図書館システム電算委託料及び電子書籍使用料を含む蔵書等整備事業として1億3,509万円を計上しております。

また、図書館施設改修のため、No. 12、図書館施設改修費として歩道タイル、公開図書室カウンターのLED照明交換などの修繕や、空調機、雨漏り修繕などの改修工事等で3億3,084万円を計上しております。

図書館は以上でございます。

吉田教育長 学校管理課長。

紺野学校管理課長 続きまして、学校管理課でございます。恐れ入りますが、別冊3の7ページを

ご覧いただきたいと存じます。

まず、予算編成の概要、総括についてご説明させていただきます。小中学校施設は、児童生徒等の学習の場であるとともに、地域の防災拠点施設として重要な役割を担っております。児童生徒等の安全で安心、快適な学習環境を確保するため、施設設備の整備、充実に努めてまいります。また、教材の整備及び更新、備品の計画的な整備、充実に図ります。特に特別教室用の机等の大型備品については、機能確保に向けた修繕を計画的に進めてまいります。さらに、校務主事の業務改善として、グループ活動を継続し、内容の充実に図ります。

続きまして、重点施策の（１）、主要施策及び目的でございますが、まず１つ目の小中一貫校の整備でございますが、令和８年度の開校に向けて、令和４年度の蒲生小学校と蒲生第二小学校の統合に伴う内部改修及び仮設教室の設置をいたします。

次に、２つ目の学校施設非構造部材の耐震化でございますが、大規模地震に備え、校舎等の照明器具や窓ガラス等の非構造部材について、専門家への委託による安全点検を実施してまいります。

３つ目の小中学校施設環境の整備と維持でございますが、老朽化に伴う学校施設・設備の安全性を確保するため、外壁の落下や雨漏りなど改修工事を計画的に進めます。令和３年度につきましては、大袋北小学校の外壁の改修を実施いたします。また、富士中学校の敷地拡張に伴い購入した学校用地の整備や、千間台小学校の校庭の砂じん対策、越ヶ谷小学校の屋内運動場の建て替えに向けた基本設計を行います。

４つ目の教材、教具等の充実にございますが、特別教室用備品、視聴覚機器、放送機器、学校図書室の蔵書等の整備につきましても、引き続き計画的に進めます。

最後に、５つ目の校務主事の業務改善でございますが、令和元年度に実施いたしましたグループ研修及び専門技能研修を継続して実施いたします。

恐れ入りますが、別冊４、令和３年度当初予算主要事業一覧の３ページをご覧いただきたいと存じます。学校管理課の事業といたしましては３つの事業を掲載しております。重点施策における説明と重複する点もございますが、概要についてご説明申し上げます。

まず、１番、小中学校施設改修事業でございますが、主な内容といたしましては、児童生徒の安全で快適な学習環境を確保するため、外壁改修やロッカー改修等の校舎改修工事やエレベーター改修や合併処理浄化槽の設置等の設備改修工事、緑化工事や防球ネットの設置等の校庭改修工事等、合わせて14億9,525万3,000円を計上しております。

次に、２番、小中一貫校整備事業でございますが、児童生徒の快適な学習環境を整え、小中学校９年間にわたる学びと育ちの連続性を重視した教育を展開するため、小中一貫校の整備を進めてまいります。主な内容といたしましては、設計委託料及びアドバイザー業務委託料として、合わせて２億4,417万1,000円を計上いたします。

なお、本予算でございますが、現時点では当該事業の一連の建設工事における整備手法が決まっていないため、通常的手法で実施及びPFI手法での実施、どちらの手法でも実施可能となるように計上しているものでございまして、本年9月の補正予算において計上したPFI手法の導入可能性を調査する基本計画策定支援業務委託にて、これらの方向性を示す予定でございました。しかしながら、先般実施いたしました入札が不調となり、業務の遅れが明らかとなったことから、令和3年度当初予算の査定までに方向性が見いだせないと判断し、今回の計上を見合わせ、次年度補正予算で改めて計上いたしたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

最後に、3番、小中学校仮設教室借上事業でございますが、児童数の増加等、教室不足に対応するため、大相模小仮設教室借上料及び蒲生小学校と蒲生第二小学校の統合に伴い、蒲生第二小学校仮設教室借上料、合わせて1億6,550万3,000円を計上しております。

学校管理課は以上でございます

吉田教育長 学務課長。

小野寺学務課長 続きまして、学務課所管の予算編成の概要についてご説明いたします。恐れ入りますが、別冊3の8ページをご覧ください。

学務課では、次代を担う児童生徒一人ひとりの個に応じた豊かな人間性の育成を図るため、学校の教育効果を高めてまいりたいと考えております。

下段をご覧ください。主要事業といたしまして、1項目め、教職員等の適正配置でございますが、教育に係る多くの課題が発生している中で、次代を担う児童生徒一人ひとりの個に応じた豊かな人間性の育成を図り、学校の教育効果を高め、よりよい授業づくりを行うために教職員等の適正配置を進め、教職員の働き方改革を一層推進します。

2項目め、就学援助制度の実施でございますが、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学費用の一部を引き続き援助し、児童生徒一人ひとりが安心して9年間の義務教育を受けられるよう努めてまいります。

3項目め、学校保健の推進でございますが、学校教育の円滑な実施に資するため、児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康管理に取り組んでまいります。また、学校保健活動を支援し、保健衛生の普及発達を目指してまいります。

4項目め、教職員健康維持の推進でございますが、教職員の心身の健康を確保していくため、在校時間の適正な把握及び管理やストレスチェックを引き続き実施し、メンタルヘルス対策を推進してまいります。

次に、恐れ入りますが、別冊4、主要事業一覧の3ページをご覧ください。No. 4、特別支援教育支援員等配置事業でございますが、各学校においては、特別な配慮を要する児童生徒が大変増加している現状がございます。各学校の配置要望に応えられるように増員を要望するものでございます。また、学校における働き方改革及び新型コロナウイルス感染症予防の対応として、スク

ール・サポート・スタッフの配置を要望しております。

No. 5、教職員健康管理事業でございますが、定期健康診断受検項目のうち心電図検査について、教職員の健康保持増進を図るため、34歳以下の教職員にも実施できるよう増額要望するものです。また、教職員の働き方改革の一環として、今まで以上に長時間労働者への面接指導を強化していきけるよう、長時間労働の面接者を増やして要望しております。

学務課の説明は以上でございます

吉田教育長 指導課長。

佐々木指導課長 続きまして、指導課でございます。別冊3の9ページの重点施策をご覧ください。

指導課では、知徳体のバランスの取れた質の高い学校教育を実現するため、15項目の主要事業がございます。特に予算の上で重点を置いた項目について説明します。

①、研究指定・委嘱に、第2期中小一貫教育推進及び1人1台のタブレット端末配備を受けて、総合的な学習の時間やICTに係る研究委嘱を増額要望します。

②、学校図書館につきましては、児童生徒の読書活動を一層推進するため、さらに新学習指導要領に記載された3つの機能を果たし、週に2日は学校司書がいる状況をつくるため、増員要望します。現在の16名から23名にすることを目指します。

③、小3から中3まで6年間の英語教育に系統的な指導とネイティブな英会話を重視する授業づくりのため、ALTの40名配置の維持を要望します。

④、喫緊の課題である教職員働き方改革への対応を見据え、まず1名の部活動指導員の配置を要望します。

⑤、3、4年社会科・環境教育で使用する副読本のデジタル化を進め、各学校版の資料も活用できるようにし、タブレットを活用した授業を行えるようにします。また、冊子に越谷の偉人や、よさを扱う内容を入れ、地域への愛情を育む教育に生かします。業者による取材活動により副読本編集委員の負担を軽減し、働き方改革に寄与します。現状の印刷費と同額でこの事業を実現できる業者が見つかりましたので、増額要望しない中でこれらの事業の実現を目指します。

⑦、部活動等競技会派遣事業では、部活動の個人・団体が全国大会へ行く際の交通費等の一部補助について、現行制度では、個人に厚く、団体では1人当たりの助成が大変少ない状況でしたので、助成制度の見直しを行い、改善案を示し、必要な額を増額要望します。

⑧、あだたら高原少年自然の家の施設廃止に伴い、特に負担の大きい中学校スキー教室へのバス借り上げ料を補助する制度については、今年度は各校とも延期となったため、今年度分は3月補正で減額補正した上で、来年度は2学年分を要望します。

⑥の充実した授業の実施のための教師用指導書配備、⑨の防災教育、⑩の防犯教育、⑪の生徒指導の充実、⑫のいじめの未然防止対応、⑬の人権教育、⑭のコミュニティスクールの充実や外部人材活用等は、これも指導課の重要な施策にはなっておりますが、事業内容の改善を進めると

いうことで、予算上は昨年度と同様の要望を行うこととします。

⑮、多文化共生社会に向けて、日本語を母語としない児童生徒への支援策の充実を目指し、国際理解教育を充実させ、日本語指導の必要な児童生徒へのオンラインによる日本語指導制度の導入を要望します。また、日本語の話せない児童生徒や保護者との意思疎通を図るため、該当児童生徒のタブレット端末に多言語音声翻訳アプリの導入を要望します。

続きまして、別冊4の3ページをご覧ください。6の学校教育推進事業では、社会の変化に対応した教育活動の充実を図るために、会計年度任用職員として、顧問に代わって指導や大会引率等が可能な部活動指導員の雇用、また先ほど申しあげました日本語指導の必要な児童生徒へのオンライン日本語指導の委託料等、合計で8,524万9,000円を要求しております。

7、部活動等競技会派遣事業では、児童生徒の部活動等競技会への参加に係る経費を助成するため、450万円を要求しております。

8、学校図書館運営活性化事業では、学校司書の増員と実態に応じた効果的な配置を行うため、6,555万3,000円を要求しております。

指導課は以上になります。

吉田教育長 給食課長。

石川給食課長 次に、給食課でございます。恐れ入りますが、別冊3の予算編成概要11ページをご覧ください。

給食課では、安心・安全、そしておいしい給食を提供するとともに、児童生徒が生涯にわたって健康で充実した生活を送ることができる能力を育成するために、学校給食の充実と食育の推進に努めてまいります。

中段の重点施策、(1)、主要事業をご覧ください。1点目の学校給食の充実でございますが、特に令和3年度は伝統的な和食が見直されていることから、海洋国日本で豊富に取れる魚をテーマに魚料理を積極的に献立に取り入れてまいります。また、東京オリンピック開催年度として、自国の伝統的な和食文化について紹介し、世界の料理についても献立に取り入れてまいります。

2点目の食育の推進につきましては、児童生徒が正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけられるよう、栄養士の学校訪問による食に関する指導を充実させてまいります。また、学校給食研究協議大会等を実施するとともに、地場農産物を活用し、食育の推進を図ります。さらに、魚について名前や栄養、おいしさについて知らせ、バランスのよい食事について取り上げ、食に関する指導の充実に努めます。

恐れ入りますが、別冊4、主要事業一覧の3ページの下から4番目、No. 9、学校給食栄養管理事業をご覧ください。先ほどご説明申しあげましたように、魚や世界の料理の提供などを行い、給食の充実を図りまして、給食材料費等の事業費14億5,909万6,000円の事業費となっております。

次に、No. 10、給食センター施設改修費をご覧ください。給食センターの安全、衛生の徹底を図

るため、給水管・給湯管改修工事や修繕等を行うための費用として3億6,848万5,000円の事業となっております。

給食課からは以上でございます。

吉田教育長 教育センター所長。

齋藤教育センター所長 続きまして、教育センターでございます。恐れ入りますが、別冊3の12ページをご覧ください。

教育センターでは、未来を担う子どもたちが自立して生きていくための、教育相談・特別支援教育、ICTを活用した教育、教職員研修において、事業の拡充を図ってまいります。

下段の重点施策ですが、1項目め、教育相談・特別支援教育の充実につきましては、いじめ、不登校、発達の遅れ等、原因や様相が複雑化する諸問題の解決に向けて、教育相談員や学び総合指導員、スクールソーシャルワーカーや学校相談員等の専門性を生かし、教育相談体制の充実を図ります。また、障がいのある児童生徒一人ひとりの自立と社会参加に向けた教育的ニーズに応えるために、発達支援訪問指導や特別支援教育に関する教職員研修の質の向上に努めるとともに、私立幼稚園や保育所等との連携を強化し、就学相談の一層の充実を図るための予算を要求してまいります。

2項目のICTを活用した教育の充実につきましては、GIGAスクール構想の加速化に伴い、児童生徒1人1台の学習用端末が効果的に利用できるよう支援してまいります。授業でのネットワーク利用増大による市と共有しているネットワークの遅延対策として、情報系ネットワークとの分離を進め学校教育用のネットワーク構築を図ってまいります。活用の幅が広がることより、児童生徒の情報収集、発信する能力、基本操作のスキル、またモラル等の情報活用能力の向上を図ってまいります。

3項目め、教職員研修の円滑な実施につきましては、中核市として市独自の研修を進めているところでありますが、県での研修と同等、またはそれ以上の研修を推進するため、県の指標を踏まえ、年次研修等のプログラムの整備を図ってまいります。

続きまして、別冊4の3ページをご覧いただきたいと存じます。No.11、学校系ネットワーク運用事業の事業費につきましては、教職員のICT活用能力の向上と校務支援システムを活用した校務の効率化を図るとともに、SNSを活用した教育相談の拡充を考えております。SNSの教育相談に関しましては、本年度、中学生を対象に夏季休業終盤から2学期初めの10日間で実施し、悩みを抱えている生徒から33件の相談があり、効果があったと判断しております。また、オンライン会議システムを利用できるように来年度は拡充を図るよう予算を要求しております。

No.12の校内系ネットワーク運用事業の事業費につきましては、児童生徒の学力及び、情報活用能力の向上を図るため、授業等で活用するICT機器等の整備、運用を図ってまいります。令和3年度は、学校に整備されていたタブレットを整理し、教員用に配備してまいります。GIGA

スクール構想による端末運用支援業務や増築、移設等に係るネットワーク環境整備等が拡充となっております。今後もICT機器の整備と活用支援を計画的に進め、高度情報化に対応してまいります。

教育センターからは以上でございます。

渡辺教育総務課長 以上をもちまして、令和3年度当初予算についての説明とさせていただきます。ご協議のほどよろしくお願いいたします。

吉田教育長 これより協議に入ります。

ご質問、またはご意見等はございますか。

その際、別冊の数字と関連する課所名を言っていたらとありがたいと思います。

荒木委員。

荒木委員 ご説明ありがとうございます。

恐れ入りますが、別冊3の2ページ、生涯学習課の重点施策で、11番目、多言語PR映像の作成とありますが、この作成した映像をどちらで放映する予定なのか。あと、どのような言語を予定しているのか、教えていただければと思います。

吉田教育長 生涯学習課長。

木村生涯学習課長 大間野町旧中村家住宅と旧東方村中村家住宅、2つの施設がございますけれども、外国語の案内資料などがないことから、外国人来館者への対応、外国人観光客の呼び込みに課題があると考えておまして、まず、この案内解説リーフレットでありますとか、そういったものの多言語化を進めていきたい。さらに、PR映像として、ご来館いただいたお客様にその施設の案内をするための映像を外国語版で作成させていただきたい。まずは英語版ということで考えております。

さらに、経費も高額であることが見込まれますので、計画的に令和3年度に旧東方村中村家住宅、令和4年度に大間野町旧中村家住宅という順で整備をしてみたいと考えております。

以上でございます。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 別冊2の7ページですけれども、下から2番目の通番29の教職員研究費助成金が、令和3年度は皆減でゼロになっているのですけれども、そもそもこれはどのような目的で使われるものなのかと、なぜなくなったのかを教えてください。

吉田教育長 教育総務課長。

渡辺教育総務課長 そちらにつきましては、私立幼稚園の教職員の研究費に対する助成を越谷市幼稚園協会に対して助成している事業を行ってまいりましたが、近年、認定こども園が幼稚園協会に入りまして、土曜日に開園しておりますので、研修会に参加できないという意見が幼稚園協会に多数寄せられていた状況がございました。来年度は、この研究費補助金を幼稚園協会に交付す

るのではなくて、各幼稚園または各認定こども園が実施している研修に充てられるように補助金を見直しまして、幼稚園振興補助金、下の30番にございます振興補助金に吸収させていただく形で補助の在り方を見直したという状況で、予算を要求していないという結果となってございます。

渡辺委員 分かりました。ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございませんでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 すみません。別冊4の3ページ、学校教育部学務課の5番のところなのですが、教職員出退勤管理システムを導入とあるのですが、今までも管理システムは導入されていたと思うのですが、これは新しいものに替えるということなのでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

小野寺学務課長 現在も出退勤管理システムを活用していますが、そのシステムの中身を改善するためにこの予算を計上しているところでございます。様々な対応点がございしますが、例えば学校に出勤してから勤務内の休憩時間の分を除くことはできているのですが、勤務時間を超えた場合の休憩時間をそこから減じることや、教職員が自己研鑽している時間帯を取り除くことなど、システムの改善をするための予算を取らせていただいております。

以上でございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 別冊3の11ページの給食課についてなのですが、学校給食の充実で魚料理を取り入れるとか、あと和食を取り入れる、世界の料理を取り入れるというのはいいことだと思います。同時に、どうしても魚や和食で、塩分が多くなり過ぎないかどうか、若干懸念として感じました。減塩教育というのは早いうちから始めなければいけないもので、どうしてもしょっぱいものに慣れてしまうと、それが大人になっても続いてしまうというところがあると言われております。管理栄養士が管理していかれると思うのですが、塩分の取り過ぎにならないような配慮がいただけるものか、ご意見をお聞かせいただけたらと思います。

吉田教育長 給食課長。

石川給食課長 ただいまのご質問のお答えですが、県と越谷市の栄養士を含めて19人で献立の立案をしております。やはりこういった和食となりますと、例えば塩で味つけをする、また、みそで味つけをする。そういったものにも塩分が多く含まれております。そういった点からも、やはり薄味とすることが重要です。例えば、だしで味を作り、そういったもので薄味にして献立を立案するというのも当然考えておまして、やはり濃い味に慣れないように、そういったことも含めまして、19人の栄養士で立案を検討していく、そのように考えております。

以上です。

吉田教育長 委員からそういうご提言があったということも確認した上で、さらに進めていきます。ほかにございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 8ページの学務課、主要事業の1番、個に応じた指導を充実させるため特別支援教育支援員の配置ということで、昨日の新聞にタイムリーに教員の心の病で休職がされたということで出ていました。特別支援学校の教職員が非常に多くなっているということで出ていたので、ぜひこちらの事業を進めていただきたいと思えますけれども、予算とは少し関係ないのですけれども、特別支援学校の先生方が非常に心の病に陥りやすいという理由を教えていただければと思います。

吉田教育長 内容が少し違っているのですけれども、説明してもらえますか。その特別支援員の性格について、少し説明してください。

学務課長。

小野寺学務課長 初めに、支援員についてのご説明でございますが、学校の通常学級におかれましても、特別支援学級におかれましても、特別な支援を必要とするお子さんがいらっしゃる場合がございます。ただ、特別支援学級の中でも、具体的に申し上げますと、机から離れてしまったりとか、場合によっては教室を出てしまったり、さらには校舎を出てしまったりするお子さんなどもいらっしゃいますので、そこに教員が1人だと、そちらの出たお子さんの安全確保とか、あと教室の中にいた場合でも、学びや個々に応じた支援をするという意味で、支援員を配置させていただいているところでございます。

したがって、これは子どもたちの教育を推し進めると同時に、教室を出てしまった子の対応をしていただける支援員がいるだけで、教員が安心して通常の授業を展開できるという部分での心の負担も安心した形で授業をしていただける。これが特別支援学級におかれましても、通常学級においても、同じような効果が出ているということでございますので、その教育効果と教員の負担軽減につながっている事業と考えております。支援員がさらに必要だと教育委員会としては認識しておりますので、さらに、増員を進めていきたいと思っておりますのでございます。

以上でございます。

吉田教育長 特別支援学校は県立ですので、特別支援学級の担任がそういう病にかかるとか、精神的にストレスを抱えて休職に追い込まれるとかという、そういう傾向は本市においては特段強くございません。ただ、いろいろ配慮を要する子どもたちですので、そういったところに手当てをしていくということで本事業を進めているということでございます。

堀川委員 ありがとうございます。よろしく申し上げます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

野口教育長職務代理者。

野口教育長職務代理者 ご説明ありがとうございます。

特に、私、質問というわけではないのですけれども、教職員の働き方改革につきましては、学務課のみならず、指導課、それから教育センター等の取り組みを通してやっていくのだということ、予算からもそれが酌み取れると思いますので、一体感があると感じました。

また、財政状況が非常に厳しい中だと思います。そこで、その中で大がかりな予算を必要とする事業がある中、細節ごとに細かい見直しを図られて、減額している部分もかなり絞り出すようにやっていらっしゃると思っているのですけれども、大変よく調整して予算を取られたのだなということを感じました。何かそういったところで、苦勞なさったところがあればお話しいただけるといいかと思いますが。

吉田教育長 学校教育部長。

岡本学校教育部長 ありがとうございます。

別冊2、予算要求書をご覧くださいますと、項目の中で、いわゆる黒い三角がついているものが増減額ということでございます。純粹に事業の見直しをすることによってという部分ではございますけれども、それぞれ一つ一つの事業の執行の状況、また現在の社会状況におけるニーズ、そういったものを考え合わせながら、それぞれの部署において見直しを図っているところだと思います。今年是指導課が指導課長を中心に一つ一つの事業を時間かけて見直しをして組替えをしたりしております。その中の一例として、先ほど指導課長からも申し上げましたが、小学校3、4年生が使う副読本と言われる社会科編でございますけれども、それらについての予算要求について、内容をより改善するとともに、教職員の働き方改革に資する形でデジタル化を図るという、そのような工夫、改善を進めた事業もございますので、そういった形で来年度の予算の編成の中で、子どもたちのために教育効果が最大に上がるように、最少の予算で最大の効果ということを念頭に置きながら、それぞれの部署で編成を図らせていただいたということでございます。

何分にもこの後、内示等々がございますので、さらに教育の必要性というものを訴えかけながら、最終的な予算案の編成までこぎ着けたいと考えておりますので、ご理解賜ればと存じます。

以上でございます。

吉田教育長 教育総務課長。

渡辺教育総務課長 教育総務部では、各課において事業見直しを行って進めているところですが、特に科学技術体験センターでは、バスを利用して子どもたちを小学校から連れてきたりしていた事業があったのですけれども、そちらについては全て出前で行う事業に切り替えましたので、そういったところでバスの借り上げ料の減額をさせていただいております。

また、コロナ禍にありまして、ミラクルにある体験装置は、今使えない状況になっておりますので、感染症対策ということも踏まえまして、また施設の設備の老朽化というのもございますが、非接触型の展示機器を導入したいという予算要求をさせていただいている状況でございます。

また、図書館におきましても、電子書籍の導入を目指した予算要求をさせていただいております。

すので、より充実した生涯学習を進めていける要求をさせていただいている状況でございます。

以上でございます。

吉田教育長 いろいろな事業、本音を言えば、もっとたくさんつけたいのですが、市長さんは教育にご理解があって、必要なものはどんどん出していいとおっしゃっていただけるのですが、この辺は教育委員会内部で調整をしながら出させていただいているわけです。さらに、それぞれのところで予算折衝しながら最終的に決めていくことになります。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、以上を踏まえて進めてください。

◎その他 令和2年12月定例市議会について

吉田教育長 続きまして、その他の報告事項に入ります。

「令和2年12月定例市議会について」、教育総務課長から説明いたします。

渡辺教育総務課長 それでは、令和2年12月定例市議会の概要につきましてご報告させていただきます。恐れ入りますが、会議要項の9ページ、10ページをご覧ください。

会期日程でございますが、11月30日から12月18日までの19日間にわたりまして、12月定例市議会が開催されたところでございます。

11ページ上段をご覧くださいと思いますが、教育委員会に関する議案につきましては、「越谷市立あだたら高原少年自然の家条例を廃止する条例制定について」ほか9件が上程され、全て原案のとおり可決されたところでございます。

次に、教育委員会関係の一般質問でございますが、会期日程にありますように12月15日から18日の計4日間にわたりまして、市政に対する一般質問がございました。教育委員会関連の質問につきましては、会議要項11ページの下段から13ページのとおり、12人の議員からそれぞれの立場でご質問がございました。

また、12月8日に開かれまして教育・環境経済常任委員会における質問事項等につきましては、会議要項の14ページに記載させていただいております。質問内容等の詳細につきましては、大変恐縮ではございますが、要項をご覧くださいまして、ご了承を賜りたいと存じます。

令和2年12月定例市議会についてのご報告は、以上でございます。

吉田教育長 ただいまのご説明に対して、ご質問、またはご意見等はございますか。

よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

ほかにございますでしょうか。

学校教育部長。

岡本学校教育部長 まず、遅れまして、大変申し訳ございませんでした。

実は、本日、本市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議がございまして、そちらに出席をしておりましたので、遅参いたしました。申し訳ございません。

この場をお借りしまして、その会議の中で教育に関わる部分についてのご報告をさせていただければと思います。少しお時間を頂戴しますが、よろしく願いいたします。

様々な報道等がございますとおり、全国的にももちろんでございますが、埼玉県、また本市においても感染者が増加、感染症の拡大になかなか収束が見えない状況でございます。そのような中、昨日23日水曜日の午後5時半から、埼玉県においてもこの新型コロナウイルス対策本部会議が開催され、県立の施設等についての閉館や延長についての決定がありました。

その内容を受けまして、本市におきましても、越谷市の屋内の市有施設について、一時的な閉館についての検討が行われました。これにつきましては、越谷市の方向性といたしましては、休館する期間を令和2年12月26日土曜日から令和3年1月17日日曜日までの期間、休館措置を取るということになりました。しかし、それらの屋内の市有施設につきましては、それぞれの施設の予約の状況等もございますことから、それらも勘案するということになりました。そして、新規の予約受付につきましては、金曜日、明日から停止をするということになりました。

本市が今回施設として当てはまるものが全部で28施設ございますが、その中で教育委員会が所掌している、あるいは子どもたちに関わる部分ということで申し上げますと、社会教育施設として科学技術体験センター、それから図書館、それから日本文化伝承の館こしがや能楽堂、それから大間野町旧中村家、旧東方村中村家、それから越谷コミュニティセンター、それからスポーツ振興課で所掌しています総合体育館、第1、第2、北、南、西体育館等でございます。これらの中で、貸し館業務として実施していて既に予約を受け付けているものにつきましては、先ほどの1月17日までのものにつきましても、引き続きそれらについてはお貸しするという形を取ることとございます。それらの方々が、キャンセルしたいということであれば、もちろんキャンセルということとございます。新規の受付をしないということと同時に、現在受付をしているものについて、それらでご利用いただくことはやぶさかではないというスタンスで取り組みたいということとございました。

また、それら以外についても市の施設についてはございますが、子どもたちに関わる場所と、これは児童館のコスモスとヒマワリがございまして、これらにつきましても同様に閉館という形を取らせていただきたいということで、市長の決定を見たという形でございます。

なお、その席上、私どもからのご報告ということで申し上げましたが、現在、中学校の部活動につきましては、1月3日まで部活動を原則中止という形を取っております。実は県の対策本部会議においても、県立学校については部活動の実施を1月17日まで原則中止という方針が打ち出

されております。これらにつきましても、本市の中学校においても同様な形で、この後、アナウンスをしていきたいと考えておりますので、そのような形で対応してまいりたいと思います。

申し訳ございません。雑ばくな説明でございますが、以上でございます。何かご質問等ありましたらよろしくお願いたします。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 今の科学技術体験センターや図書館、体育館も、新規には17日まで使用禁止ということなのですが、これはまだ、市民の皆さんはご存じないですか。

吉田教育長 学校教育部長。

岡本学校教育部長 つい先ほど決定したものでございますので、この後、アナウンスをしていくという流れになってまいります。ホームページ等でのことですか、それから新規の受付をしないということもございますので、それらについては周知の期間を取るということで、本日1日周知の期間を取り、25日からの施設の予約受付については止めるという形でございます。

渡辺委員 分かりました。ありがとうございます。

ただ、冬休みに入って、子どもたちはやはり図書館や児童館に行けることを、楽しみにしていたと思うので、かわいそうと思いました。

吉田教育長 そういうことですので、この情報はこの場でという。

野口委員 学校の体育館の貸出は。

岡本学校教育部長 十分に検討しながら、この後、周知をしてまいりたいと思っております。

吉田教育長 ほかによろしいですか。

教育委員会としては、こういった感染が拡大している状況の中で、なおかつウィズコロナという形で、多少緩んできている点も見受けられるので、少し注意を喚起するという意味合いから、部活動に関して冬休み中は中止、かつその延長を17日までということでは今後進めていきたいと考えております。

よろしいでしょうか。

学校教育部長。

岡本学校教育部長 参考までに申し上げますと、皆様ご案内のとおりだと思うのですが、さいたま市の大宮区、それから川口市、それから本市の一部エリアにおいては、いわゆる営業時間の短縮等が求められている状況ということで、そのことについては会議の席上でも非常に重く受け止めている話がありました。同時に、そういう状況であることから、金曜日に、マスクの着用を訴えかけるために県の副知事様、本市の高橋市長も参加し、新越谷駅を中心に街頭キャンペーンをやるですか、それから消防や保健医療部等が中心になりまして、それらのエリアの、いわゆる酒類を販売している、提供している店舗について、一軒一軒、臨宅をする形で協力を呼びかけていくという形で、非常に緊張感のある状況だと思っております。それらが埼玉県全体でなく、や

はりさいたま市、川口市、そして越谷市という状況ですので、今、教育長からもありましたが、そういう意味でも子どもたちへの、また教職員への気持ちを引き締めるという面も大きいと思っております。

以上でございます。

吉田教育長 医療体制が余裕あったのがだんだん逼迫してきている中で、そういう状況を考えると、このところで少し要請等強めていくという形に、県としても方針を切り替えたということだと思います。

あれもこれも駄目だというのは、少し我々としても忍び難いのですけれども、しかし実際に家庭の中では、そういった感染によって重症化する親族、あるいは人たちを抱えている家庭もあるわけですから、そういったところを考えると、やむを得ない措置なのだろうと思っているところです。委員の皆様もご了承いただければと思います。

ほかに何かございますか。

教育総務部長、いいですか。

鈴木教育総務部長 遅れてすみません。今、政策会議が終わったのですけれども。対策本部会議の内容は、岡本部長から報告があったと思いますが、教育総務部に関連する施設としては体育館等いろいろございますが、特に予約が入っているところは予約を実行していくと。ただし、17日までの新規は受け付けないという方向でございますので、対策本部会議の方針にのっとってやっていきたいと思っております。

以上でございます。

吉田教育長 ほかによろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 ほかになければ、以上とします。

最後に、次回の教育委員会会議の日時につきましては、令和3年度教育行政方針の原案について協議を行う必要があるため、1月臨時教育委員会会議を、1月6日、水曜日、午前10時から教育委員会室で、また1月の定例教育委員会会議は、1月28日、木曜日、午後2時から教育委員会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 では、そのようにいたしますので、よろしく願いいたします。

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本定例会に提出されました議事は終了いたしました。

これをもちまして閉会といたします。

(午前11時28分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉 田 茂

委 員

野 口 久 男

委 員

堀 川 智 子

委 員

荒 木 明 子

委 員

渡 辺 律 子

委 員

山 口 文 平

書 記

教育総務課副課長

市川 今日子